

発行日 2018年8月25日(第27号)

社会福祉法人 博寿会 よろこび

基本理念
「凜と生きる」

私たちは利用者様やご家族の方が「凜と生きる」ことを支援します
そして私達も「凜と生きる」ことを誓います

飛鳥野の里: 特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービスセンター・ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所・新所沢地域包括支援センター

飛鳥野の森: 地域密着型特別養護老人ホーム・地域密着型ケアハウス・小規模多機能ホーム
介護予防拠点

〒359-0005 所沢市神米金 505-1

里: 04-2990-2580 森: 04-2990-1080

(FAX共通) 04-2990-2585



飛鳥野の里 施設長 吉田 みどり

昨年11月に飛鳥野の里施設長を拝命いたしました。

飛鳥野の里開設から17年、皆様にご信頼いただいた施設の運営方針を引き継ぎ、さらにご利用様が安心して楽しく過ごして頂ける施設運営に取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

今年は異常な程の暑い夏でした。施設は年間を通し一定の温度に設定していますが、それでもご入所されている方は気温の変化を敏感に感じ取られます。体調を崩される方もいらっしゃいますので、職員は細心の注意を払い室温管理を行っています。

室温が一定な施設で生活されていても季節を感じて頂きたく、綿菓子や焼きそばで夏祭り気分を味わい、スイカ割りを楽しんでいただきました。

近年施設の周りにも様々な介護施設ができました。介護保険をご利用の方は目的に合った施設やサービスを選ぶことができます。たくさんの選択肢の中から「飛鳥野の里」「飛鳥野の森」の各事業をご利用いただき、誠にありがとうございます。各部署の職員はご利用者にとってより良いケアを目指し励んでいます。

職員と共に地域福祉の拠点となるよう全力を尽くしてまいりますので、これまでと変わらぬご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



飛鳥野の森 施設長 吉田 春樹

飛鳥野の森も本年度で12年目を迎え、ご家族様や地域の方々および行政・医療機関の方のご理解とご協力を承り心から感謝申し上げます。

今は、広域型・飛鳥野の里と地域密着型・飛鳥野の森の二つの施設があり、飛鳥野の里開設時のメンバーが両施設の中心となり、職員一同協力し合い介護の質の向上を目指し日々頑張っています。この間、内・外部研修の充実や子育て支援、65歳定年などを取り組んできました。

また、3年に一度介護保険改正が行われ、特に平成27年からは「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」をはじめ「特養の入所要件要介護3以上」、一定所得者の「利用者負担割合」と「利用者負担上限額」及び法人改革等々が大きく変わってきました。時の移り変わりと共に、今、すべきことは「何か」を常に考え、入居者・利用者を第一に考え、今後も邁進して参ります。

介護におきましては、他職種との連携や情報の共有および介助の統一性を持ち入居者の残存能力を十分に活かした支援・介助を行っています。

常に質の高い介護をめざし努力していますので入居者およびご家族様から感謝の言葉を頂いていることは、私たちの心の支えになっています。

これからも、更に自己研鑽して行きますので、これからもどうぞご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



特別養護老人ホーム 飛鳥野の里

年々寒い時期・暑い時期が長く、春や秋のような気持ちの良い気候の期間が年間を通して短くなってきているように感じます。施設に入所すると、外出の機会がどうしても少なくなりがちです。そのため、気候の良い時期はできるだけ施設の外へ出て、楽しめる機会を多く作っていきたくと思っています。そこで、今回は飛鳥野の里での外出行事についてお伝えしていきます。

毎年恒例だった年の初めの外出である初詣も、ここ数年はインフルエンザをはじめとする感染症の予防対策のため外に出にくくなってしまいました。施設内に特設された「飛鳥野神社」でのお参りが定番となっています。

春になり、ようやく温かくなって「やっと外出できる！」という気持ちでまずはお花見へ。毎年異なる場所に出かけますが、今年是国家リハビリテーションセンターにお邪魔しました。やはり日本人は満開の桜を見ると嬉しいものですね！皆さんもとてもいい笑顔で、とても喜んで下さいます。



でもやっぱり『花より団子』・・・食べる楽しみは格別です。外で食べるものはいつもよりずっと美味しく感じられるもの。入居者皆さんのリクエストを聞き、お店は職員が選んで予約をし外食ツアーへ。どのお店もとても親切に対応して下さい、車椅子でも無理なく楽しめます。メニューを見ながらどれを食べようか迷っている時の皆さんの目はとても生き生きとしています。普段と違った顔がみられたり、会話もいつもより弾んで面白い話が飛び出してきたり、毎回皆さんの笑顔と共に施設に帰ってきます。外食以外にも、お買い物をしたり公園にピクニックに出かけたりすることもあります。

入居者皆さんの笑顔をたくさん引き出せるように、これからも様々な外出行事を企画していきたいです。





デイサービスセンター 飛鳥野の里



デイサービスでは、入浴や食事など日常生活の支援に加え、レクリエーションや月ごとの製作物に加え、行事や季節感を多く取り入れた活動を実施することにより、利用者様が持つ能力や可能性を最大限に活用し、自立した生活が継続できるように支援していきます。

また活動の中で、お習字やギター、バルーンアート、オカリナ、尺八、フラダンスなど多くのボランティアの皆様のご協力のもと、バラエティー豊かなレクリエーションを提供させていただいております。



納涼祭、敬老会、お食事ツアーなど年間を通して季節に合った行事も開催し、利用者様も笑顔あふれ、リラックスして楽しんでいただいています。



今年6月から新しい職員も加わり、利用者様にとって幸せいっぱいな時間を通して、明るく元気な姿を保てるよう今後とも努力していきますので、よろしくお願い致します。



ヘルパーステーション 飛鳥野の里

ヘルパーステーションは、介護保険のサービス事業所として日々、業務にあたっております。現在5名のスタッフが在籍しております。



雨の日も風の日も、暑い日も寒い日もご利用者様のお宅へお伺いし、安定した日常生活を一日でも長く続けられるように、ご自身で行えない部分のお手伝いをさせていただきます。

ご利用者様が、住み慣れたご自宅、住み慣れた地域での生活を、末永く安心して送ることができることを願いながらサービスを提供していきたく思います。

いつものようにサービスが終了し辞去する際に「ありがとう」「助かったよ」と仰って頂くと、ほっこりとした気持ちになり「また、来週来ます」と笑顔で答えることができます。また、ご自身で行えることが増えることも大きな喜びです。ヘルパーの仕事をしていて良かった、頑張ろうという気持ちになります。

ご利用者様への支援のみならず、介護をされているご家族様の介護負担軽減に応えられるようにサービスの提供を行いたく思います。

ヘルパーもご利用者様に元気を頂きながら、皆様に愛されるヘルパーステーションでありたいと思います。



サービス提供地域：所沢市

サービス営業時間：8：30～17：30（平日・土曜・日曜・祝日）

その他の時間帯、またはホームヘルパーに関すること等なんでもお気軽にご相談ください。



特別養護老人ホーム / ケアハウス 飛鳥野の森



リハビリの専門職が入職しました。
名前は、東島美紀です。

【グループ体操】

9:30 から 10 時頃になると、各ユニットでは朝のグループ体操が始まります。いつもは、ケアワーカーが音楽に乗せて行う体操や頭の体操を行ったり、レクリエーションワーカーの時は、棒や指を使って歌いながらの楽しい運動を行っています。しかし、東島が先頭に立つと今まで丸～くになっていた背中が「まっすぐ」になり、いつも以上に真剣な目で体操に参加しています。それはなぜか？
まず、座る姿勢からそっと正してから始めるからです。



【個別リハビリ】

入居者個人の持てる力を評価し、筋力低下防止のための個別リハビリメニューを作成し実施しています。

【職員教育】

4 月より、職員対象に

◎4 月 骨盤月間 ◎5 月 肩甲骨月間 ◎6 月 脊柱月間

①各部位の骨の構造や動き方、

②ポジショニング・シーティングへの一步として安楽な体位が取れるようなクッションの当て方や、姿勢の把持、移乗・移動の動きやすい方法など研修を実施しています。



あすかのカフェ



毎月・第3水曜日に【あすかのカフェ】開催中

介護のこと・将来不安に思っていることなど、お茶を飲みながら気軽にお話ができるカフェです。日常の中で役立つ豆知識や、ちょっと頭を使う体操など、月替わりで行っています。

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。

[時間]14:00~15:30





居宅介護支援事業所



介護保険制度は、社会状況の変化に対応してその役割も多様化してきました。

その役割の一つが「地域包括ケアシステム」構築の推進です。地域包括ケアシステムの定義は、「地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制」のこととされています。この地域包括ケアの中で私達ケアマネージャは、利用者様・ご家族への個々のニーズに合わせた支援を提供し、地域の課題解決についても積極的に関わっていきたいと思います。



新所沢地域包括支援センター

地域包括支援センターは地域で暮らす高齢者のみなさまとご家族を、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的に支える相談窓口です。所沢市では、社会福祉法人や医療法人に委託し、市内 14 か所に設置しています。当センターは、泉町、榎町、青葉台、けやき台、緑町、向陽町を担当しています。総合相談の他に、介護保険の要支援認定を受けた方の介護予防ケアマネジメントも行っています。相談件数は、総合相談と介護予防を含めて月平均 200 件です。

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、認知症の高齢者などが増加する中、高齢者が地域で生きがいを持ちながら生活を継続する為には、医療や介護のみならず、多様な介護予防や生活支援サービスが必要となります。その為には、介護予防や生活支援サービスを担う社会福祉法人、NPO、民間企業、ボランティアなどの様々な主体と連携しながら、多様な支援体制を構築していく必要があります。このことから、所沢市では地域資源の把握やニーズの分析などを行う為、平成 30 年 1 月より「生活支援コーディネーター」が各地域包括支援センターに配置されました。生活支援コーディネーターは、「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、協議体（支え合い会議）と協力しながら、地域の様々な活動をつなげ、組み合わせる調整役です。

今年度の新所沢地区の生活支援コーディネーターの活動としては、自治会や関係機関等をまわり、まずは生活支援コーディネーターの役割を知ってもらい、地域の困りごとの把握に努めています。



新人紹介



飯盛 元太

4月より飛鳥野の森に配属されました飯盛元太です。介護の仕事は未経験ですが、この世界に飛び込みました。この仕事を志した動機は父親の介護を経験したことです。父親の介護をしていく中で、様々な介護職の方に出会いました。明るく接してくれる方や、真摯に向き合ってくれる方。そんな方々と触れ合う中で、介護職というものに魅力を感じるようになりました。これから飛鳥野でしっかりと学び、経験を積んで、まずは介護士福祉士の資格を取得できるよう頑張っていきたいと思っています。

大山 勇人

今年の4月に飛鳥野の里に常勤職員として入社した大山勇人です。地元所沢の高校を卒業してすぐに入職し、初任者研修を受け、飛鳥野の一員として勤務しています。飛鳥野に入職する以前に、高校生介護一日体験ボランティアをしていました。飛鳥野で食事介助や排泄介助、入浴介助や入居者とのコミュニケーションを極めたいです。将来は、すべての勤務内容を覚え、今後利用者の方の思いに添えるケアをしていきたいです。

北堀 麻衣

6月より飛鳥野の森に入職した北堀麻衣と申します。元々は同じ埼玉県の熊谷の近くに住んでいました。そのため、暑さには慣れているつもりでしたが、所沢も十分に暑いので、入居者様の元気に負けないよう体調管理にも気を付けていきます。入社してまだ日も浅く、先輩方に毎日たくさんのことを学ばせて頂いています。その学んだことをしっかりと自分の経験とし、今後の仕事にも活かしていきたいよう努めていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

熊澤 真佐美

入社し半年ほど経ちました。人生の一部に携わる介護職として、もう少し寄り添う介護をしていく初めてのユニットケアを経験することに致しました。沢山の不安もありましたが、入居者様の笑顔や、ありがたい感謝の言葉をいただく事ができ、楽しく仕事をさせていただいています。入居者様のニーズに対応し、生活の満足度を高め、少しでも元気で楽しい日々を飛鳥野で過ごしていただけるように頑張っていきたいと思います。

佐藤 美和

4月から飛鳥野の森に配属になりました。ホームページの法人理念「凛として生きる」という言葉に惹かれ、施設での看護とはどのようなものだろうと興味を持つようになりました。以前は、長期療養型の病院で働いていたので、施設で働いていけるだろうかと不安でしたが、スタッフの方々が丁寧に教えて下さり、少しずつ慣れてきました。これからも皆さんと一緒に入居者の方がその人らしく生活していけるよう関わっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。